



岡山大学

OKAYAMA UNIVERSITY

マッチングプログラムコース



2012

Matching Program Course



This course is designed to help students create their own integrated program matching individual career interests and goals with what they study. Each student will decide an area of interest and investigate it. Choices will not be limited to the existing curriculums offered by faculties and departments. The goal is to develop students' character as well as ability. We will award a bachelor's degree in philosophy to those students who complete the matching program course.

MP コースって？

マッチングプログラムコース(MP コース)は、幅広い分野に興味を持ち、自分で考える力を育んできた生徒を受け入れ、先進分野・国際連携分野などで活躍する人材を育成するため、岡山大学における戦略的構想の下に生まれた新しい教育コースです。様々な分野に興味を持ち、意欲のある生徒を育てるためには、入学時や修学時に起こるミスマッチを解消し、目的指向力を高めることが何よりも重要です。本コースでは、学生が担任やアカデミックアドバイザー(教員)の指導の下で、将来の目標に対するマッチングを図ることにより、学生の目的指向力を高め、国際社会で役立つ英語や課題探求型授業などの、先進的教育プログラムを実践しています。卒業研究も、学生各自の目標・目的にあった学部・学科を選び、これらの学部教員の指導のもとで行うことができます。

MP コースで学ぶことにより、現代社会で求められる応用力や積極性を鍛え、課題解決能力を養うことができます。また、特色ある授業内容と整った学習環境の中で、物事を一方からだけ見るのではなく、多方面から考え、新たな発見をする感性を培うことができます。

進路としては、それぞれの専門領域に関連した分野、すなわち研究、教育、スポーツ関連、情報関連などが考えられます。また、卒業研究に関連した岡山大学の大学院はもちろん、外国を含めた大学の大学院への進学の道も大きく開かれています。

MP コースでは一人ひとりの興味関心に応じた将来設計を行う教育プログラムを自ら組み立てられることが大きな特徴です。

ご挨拶

皆さんは、どんな目的で大学に入学するのでしょうか。皆さんの多くは、それぞれの学部等で、自分の将来の職業のため、知識や考え方を学ぶことを目的としていると思います。しかし、既存の学部・学科・コースなどでは、自分の学びたいことを十分学べないと考えている人もいます。岡山大学マッチングプログラムコース(MP コース)は、自分の現在の興味や将来の目的のため、教員の助言を受けながら学部や学科の枠にとらわれずに自分自身にあった履修プログラムを作成して学ぶことができるユニークなコースです。また、MP コースでは、現代社会で重要視されている英語力も含めたコミュニケーション能力、さらに自ら考えだす能力を養うことにも重点を置いており、その中で一人ひとりの個性や能力を一層伸ばすことを目指しています。そして、これらの教育過程により、現代ますます多様で複雑になりつつある社会の要請に応えられるような人材を育成しています。

このMP コースは2006年度にスタートした新しいコースで、卒業しているのは2期生までですが、これまでの就職希望者は昨今の不況下でありながら就職活動を有利に進め、多くの学生が早い段階で希望の企業への内定を得て就職することができています。これはMP コースで学ぶことができる広い視野にたった専門性ととも、コース独自の教育の中で培われるコミュニケーション能力、チャレンジ精神、独立心、さらには創造性などが高く評価されたためと思われる。一方、卒業後は大学院へ進学し、さらに専門性の高い教育をうけている学生も多数います。

好奇心にあふれた人、考えることが好きな人、他人と少し違うことがしてみたい人、学部の枠を越えてさまざまな分野のことを学びたい人、色々な分野に興味があり志望分野を決めかねている人は、ぜひMP コースの入学試験に挑戦してください。MP コースの入試は、単に知識を持っているかだけではなく、知識を生かすことができる能力を持っているか、MP コースの目指す教育を受ける能力・資質を持っているかをみます。2日間ある入試は少しハードかもしれませんが、多くの受験生が楽しかったという感想を寄せてくれており、いい経験にもなると思います。

マッチングプログラムコース教育部長
上田均

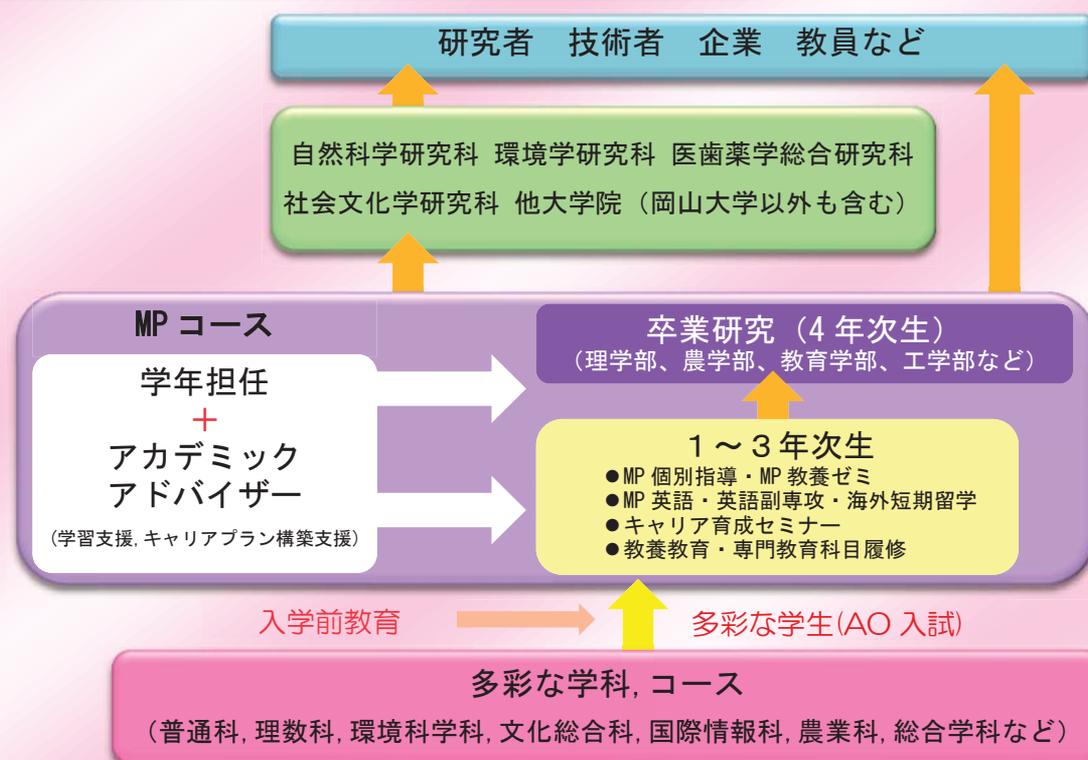
目次

MP コースって？／教育部長からの挨拶	p2
MP コースの特徴／MP コースの特徴	p3
キャンパスライフ(1～3年生)	p4
アカデミック・アドバイザー／英語合宿	p6
語学研修	p7
就職活動／卒業生からのメッセージ	p8
入試概要	p9

MP コースの特徴

- ① 目標に応じた独自の学部横断型のカリキュラム
- ② アカデミックアドバイザーによる効果的な履修指導
- ③ 目的に応じた学部・学科での卒業研究
- ④ 実践的な訓練を通じた、英語力・専門能力向上

MP コースの学生は、アカデミックアドバイザーの助言を受けながら文理の枠を超え、自分に最も適した履修プログラムを作ります。そのため、履修プログラムは学生一人ずつ違い、誰一人として同じ授業時間割で学んでいる学生はいません。通常の学部・学科に属する学生が選択科目を除いてクラス全員で同じ授業を履修するのは際立った違いがあります。



MP コース独自の授業

➤ MP 英語

“使える英語”が学べる授業。ネイティブにも通用する発音を学べる授業や、日常やビジネスシーンでの文章をつける授業があります。少人数制の特色を活かしたきめの細かい指導が受けられます。

➤ MP 教養ゼミ

様々な学部の先生や他大学の先生方を招き、文理を問わない講義をしてもらいます。文系、理系に偏らない柔軟な発想を養うことができます。また、課題に対して、自分で調べ、プレゼンテーションする時間もあり、社会に出たとき必要になるコミュニケーション力なども身につけることができます。

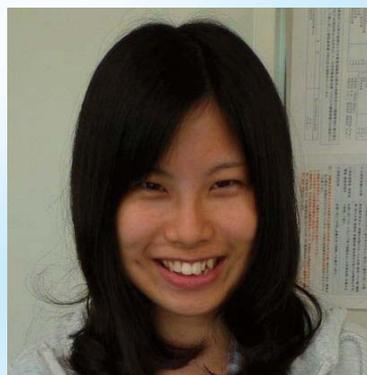
➤ キャリア育成セミナー

自分のキャリア(将来こうなりたい)を考えていくセミナーです。無限の可能性があるMPコースだからこそ、将来やりたいことがなかなか一つにしばれません。そこで自分の興味ある分野や、性格などをもう一度見直し、本当に自分のやりたいことを発見したり、その夢を実現したりするためにどうすればよいか考えていきます。また、実際に社会の中で活躍されている方々に講演してもらい「社会とはどういうものか?」、「学生時代どう過ごせばよいか?」などのお話を聞くことができます。

キャンパスライフ

1年生 久保 愛結子

岡山県立西大寺高等学校 卒業



私は高校時代、文系学科に所属していましたが、生物学に興味を持ち、MPコースを受験しました。MPコースでは、複数の学部を横断して授業を履修できるのが特色ですが、高校の文理出身に関係なく授業を履修できることも、特色のひとつだと思います。現在は理学部生物学科の授業を主にとっていますが、今後は、生物についてより多角的な視野を身に付けるため、他学部の授業を積極的に履修していきたいと思っています。

MPコースには、独自の英語の授業や、プレゼンテーションを行う授業もあり、必要なスキルを身に付けることができます。また、学生一人ひとりにアカデミックアドバイザーの先生がついてくださるため、授業の履修で迷ったり、学生生活で困ったことがあれば気兼ねなく相談することができます。

MPコースは学びたい分野が複数あるという人にはもちろんお勧めですが、学びたい分野がまだはっきりしていない人や、私のように大学に入って新しい分野に挑戦してみたいという人にもお勧めのコースだと思います。

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	物理学への招待 (教養教育)	基礎生物学演習 I (理学部)			中国語初級 I (読本) (教養教育)
2	英語(MPコース1) (MPコース)	自然科学入門 (MPコース)	英語(MPコース2) (MPコース)	日本語の音声 (教養教育)	統計学入門 (教養教育)
3	情報処理入門 (環境理工学部)	中国語初級 I (文法) (教養教育)	MP教養ゼミ(自然科学) (MPコース)	MP個別指導 (MPコース)	初等生物学 (教養教育)
4				スポーツ実習A (教養教育)	
5					分子生物学 I (理学部)

1年生 横山 真理

岡山県立大安寺高等学校 卒業



MPコースと聞いて、何をそこで学んでいくのか想像できる人は少ないと思います。ここでは目的に応じた学部・学科横断型の時間割のもと、独自の勉強計画を立てていくことができます。

私は運動科学やスポーツ科学に興味があるため、それに関連した教育学部中心の授業を受講しています。今後は理学部生物学科の生体制御学という、細胞間情報伝達などを学べる講義も受けていこうと考えています。

悩んだ時も不安な時も心配はありません。MPコースの学生一人ひとりにアカデミックアドバイザーがついています。勉強のことだけでなく、大学生活のことも相談に乗ってくれます。またMPコースでは学習室があり、クラスメイトと文理の枠を超えた情報交換ができる点が良いところだと思います。私はMPコースに入学して、たくさんの素晴らしい友人や先生に会うことができました。毎日勉学に励み、将来の確かな目標に向けて頑張っています。良い環境に恵まれたMPコース、私はとても大好きです。

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	自閉症の人間学 (教養教育)		健康・スポーツ科学 (教養教育)	運動栄養学 (教育学部)	中国語初級 I (読本) (教養教育)
2	英語(MPコース1) (MPコース)	自然科学入門 (MPコース)	英語(MP英語2) (MPコース)	病気と医学検査 (教養教育)	
3	MP個別指導 (MPコース)	中国語初級 I (文法) (教養教育)	MP教養ゼミ (MPコース)		
4				スポーツ実習A (教養教育)	人体の構造 (教育学部)
5				体育史 (教育学部)	

2年生 天野 早織

清心女子高等学校 卒業



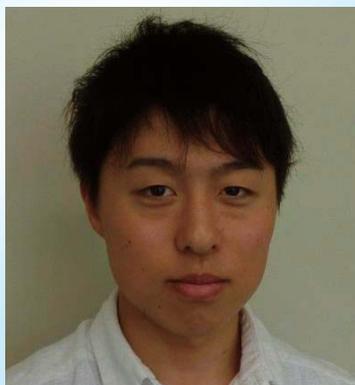
私が興味を持っている分野は、昆虫の生態についてです。そのため私は現在MP コースの学部横断制度を利用し、農学部や理学部生物学科の講義を中心に受け、動物の行動や生態について学んでいます。また2年生の前期から、生物を学んでいく上で欠かせない有機化学や生化学にも挑戦し始めました。

今後は動物の生態について、さらに専門的な内容について学んでいくつもりです。また環境保全や環境問題にも興味があるので、農学部や環境理工学部の講義も今後受けていきたいと考えています。加えて英語での会話・プレゼンテーション等の実践的な英語能力の向上を目指すため、積極的に「上級英語」を受講し、英語の副専攻コースへの参加を目標としています。

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	情報と職業倫理 (理学部)	免疫生物学 (理学部)	有機化学 I (農学部)		
2	環境保全学 (農学部)	MP教養ゼミ(異文化) (MPコース)	行動生物学 (理学部)		
3	上級英語 (教養教育)				植物病理学 (農学部)
4		MP個別指導2 (MPコース)		実験実習指針 (農学部)	
5			英語(MPコース3) (MPコース)		

3年生 吉崎 広太

岡山県立玉野高等学校 卒業



私がMP コースに入ったのは、学科の枠にとらわれない学部横断型の勉強をしたいと思ったからです。

現在はほとんどが情報工学科の講義ですが、2年次は通信ネットワーク工学科やシステム工学科の講義も履修していました。

私は主にプログラミングに関する講義を履修していて、今までいくつかの学科を横断して学んできましたが、それぞれの学科で学ぶ内容は似ていても目的は違って、様々な視点からプログラミングについて眺めることができました。MPコースの利点はこういった所にあると思います。

私のように内容が似ていても向かう先が違う講義を取っていれば、自然と自分が真に学びたい分野を発見できるはずです。他学部では学科に合わせたカリキュラムがありますが、MP コースにはそれがありません。つまり、自分自身でゆっくりにしたいことが見つけられるのです。この利点を利用し、他学部ではできないような「自分探し」をやってみませんか？

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1			コンピュータシステム I (工学部)	人工知能基礎学 (工学部)	人工知能 (工学部)
2	平行プログラミング (工学部)	コンピュータアーキテクチャII (工学部)	制御論 (工学部)	特別講義 (経済学部)	
3			MP英語I (MPコース)		
4	情報工学実験第一 (工学部)				プログラミング演習第二 (工学部)
5			MP教養ゼミ(倫理・哲学) (MPコース)		

アカデミックアドバイザー制度

マッチングプログラムコース（MP コース）では、個々の学生が学部・学科の枠にとらわれず、独自のカリキュラムを組み立てます。膨大な数の授業科目の中から自分に合った授業科目を選ぶことは決して簡単ではありませんが、そんな時に頼りになるのがアカデミックアドバイザー（A・A）です。

MP コースでは、各学生の学びたいことや将来の目標にマッチした分野を専門とする教員が A・A として学生ひとりひとりを担当します。学生と A・A は基本的に毎週一回面談をします。その内容は、授業履修に関する助言、学業の進行状況の報告や、将来のことについての相談（どんな授業を履修するか、から、将来どんな職業に就きたいか、まで）などです。高校までと違い、一般に大学の、特に 1・2 年生の間は教員と直接話す機会はそれほど頻繁にはありません。しかし、MP コースでは毎週 A・A と面談することで教員との距離が近づき、積極的に大学教員という「人的資源」を利用することができます。MP コース学生の積極性は既に各方面に知られるところですが、その一つの要因として、この教員との距離感の無さも挙げられるのではないのでしょうか。

英語合宿

英語合宿とは昨年度から始まった MP コース独自の試みで、英語をもっと身近に感じるために、留学生と数日間英語だけで生活するというものです。前回の英語合宿は 2 泊 3 日で行われました。テーマを決めてプレゼンテーションし合ったり、クイズを用いた英語授業を行ったりなど、学校の英語の勉強とは一味違い、とても新鮮でした。また、このような勉強面以外にも、カレー作りやハイキングなどの合宿ならではの行事や、グループ対抗のビンゴゲーム、外国のボードゲームなど、レジャーを通して楽しみながら英語を身につけることが出来ました。



この合宿に参加する前は、英語を勉強する目的があいまいで、なかなか勉強する気が起きなかったのですが、参加して留学生と交流を深めていく中で、「もっと外国人と話したい」という目標ができ、英語を身につけようと思えるようになりました。

留学生と交流したい、英語が得意で日常的に使ってみたいという人はもちろんの事、英語を学ぶことにモチベーションが上がらない、英語を勉強する意味がよくわからない、そんな人にこそ参加して欲しいと思います。この合宿をきっかけに、本格的に英語を身につけてみませんか？

2 年生 吉田 雄一

語学研修 in Adelaide

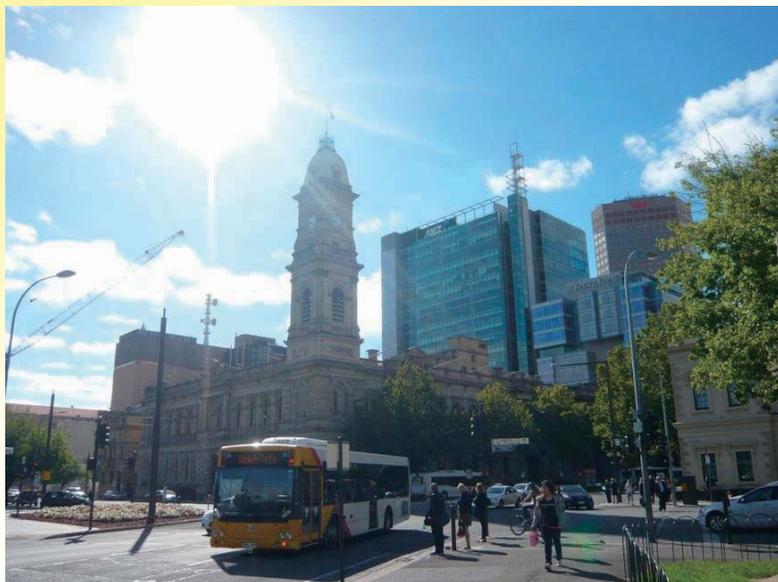
今年の春休み、私は補助金(MPコースには TOEIC で一定の点数を取ると補助金を出していただける制度があります)を利用して、岡山大学の春季語学研修でオーストラリアのアデレードへ 5 週間行ってきました。

アデレードでは午前か午後の半日だけの講義だったので、空いた時間は買い物やちょっとした観光をしたり、図書館で勉強したりする時間がたっぷりあります。コンパクトな街なので、何をすることも不自由な思いをすることはありませんでした。

また、私のホストファミリーは本当に素敵な方で、色々な所へ連れて行ってくださいました。毎日欠かさずお弁当に作ってくれたサンドイッチの味は、今でも忘れられません。

私は、お金があれば大学生の内は是非「経験を買う」べきだと思います。特に海外に行き、自分の全く知らない文化にどっぷり浸かって生活するという事は、日常に刺激を与えてくれます。

そして、他の留学生やホストファミリーに自分の国や文化について話そうとして初めて、自分がいかに日本を知らないかということに気付かされます。日本を出て、日本を外から眺めて初めて、当たり前が当たり前でなかったことに気付かされます。



「モノ」はいつの日か無くなってしましますが、自分が苦労したり心の底から感動したりした「経験」は一生残ります。

たかが 5 週間、されど 5 週間。このパンフレットを読んでもらっている皆さんにも是非、MP コースで私以上の「経験」をして欲しいと心から願っています。小さなことでも心から笑える、“Thank you.”では足りないほどの「ありがとう」の気持ちになれる、そんな「経験」をしてみませんか？

2 回生 草苺 幸



就職活動

近年は就職氷河期とも言われていますが、MP コースで育んだ力は就職活動で活かせる学びだったと思います。

MP コースは自由だからこそ自己責任も大きい学部で、「自ら考え、決断し、行動する力」が自然と身に付きます。また、プレゼンテーションや討論をすることも多く、休み時間の中でも仲間同士で「伝える、聴く」の訓練をしていました。

ここで培ったチャレンジ精神やコミュニケーション能力は就職活動で大いに役立ち、そのおかげで、今の時点ですでに内々定を頂くことができました。大きく成長できる 4 年間を与えてくれた MP コースに感謝しています。

4 年生 笠岡 美貴

卒業生からのメッセージ

私は現在、岡山大学大学院に進学し、メダカを用いて性ステロイドホルモンについての研究を行っています。MP コース入学時には生物と数学どちらの分野に進もうか迷っていましたが、そのため両方の授業を履修し、本当にやりたいことを考え、生物専攻に決めました。今行っている研究は大変なこともあります。途中で諦めることは決してありません。MP コースでの 4 年間は私にとって大きな財産になっています。

MP コースは大学の授業を実際に受けてからでも専攻を選択できます。今まだ進路を迷っている人は特にたくさん学ぶことができると思います。MP コースで自分の道を自分で探してみてください。

岡山大学大学院自然科学研究科 修士 1 年生 秋山 美穂

MP コース説明会情報

MP コース独自の説明会をします。
先生や学生の生の声を聞くチャンスです！
ホームページで日程を確認してお越しください。



Made by

Matching Program Course Students

このパンフレットは企画・デザインなど、ほとんどをMPコースの学生が行いました。「MPコースをもっとよく知ってもらいたい」そんな思いで、パンフレットは毎年学生が主体となり制作しています。学生が主役のMPコースだからこそ、私達は沢山の人の受験してもらいたいです。最後に制作に協力頂いた全ての皆様に感謝し、後書きを終わらせて頂きます。

制作統括：2 年生 阿曾沼 孝敏

入試概要

- 募集人数 16名
- 出願資格 次のいずれにも該当する者
 - 1 次のいずれかに該当する者
 - ① 高等学校(中等教育後の後期課程を含む)を平成18年3月以降に卒業した者及び平成24年3月までに卒業見込みの者又はそれと同等の学力があると認められる者
 - ② 高等専門学校第3学年を平成18年3月以降に修了し又は平成24年3月までに修了見込みの者
 - 2 岡山大学マッチングプログラムコースでの勉学を強く希望し、最終の選抜に合格した場合必ず入学することを確約できる者
- 選抜方法
 - 第1次選抜
 - 出願書類(調査書・自己推薦)による書類選考
 - 第1次選抜の合格者は、原則として、募集人員の3倍程度
 - 志願者数が募集人員に対する予告倍率(3倍)を超えた場合は、第1次(書類)選抜を行い、その合格者についてのみ第2次選抜を行う。
志願者調査書の評点は数学・英語・国語を重視する。自己推薦書の内容は自己アピール及び活動記録である。その他の活動実績(生徒会活動やスポーツ活動など)も評価する。
 - 第2次選抜
 - 第1日
講義に関するレポート 400点
(英語に関する課題が一部含まれることがあります)
講義を受講し、与えられた課題(問題)に対してレポートを作成する。
講義時間とレポート作成時間を合わせて120分、これを2回行う。
 - 第2日
 - 1) 小論文 300点
数学・物理・化学・生物・地学・保健体育の6題から1題を選択し、小論文及びポスターを180分で作成する。
 - 2) 発表及びグループ討論
選択した問題に応じて6人程度のグループに分かれ、発表(6分)及び討論(40分)を行う。
 - 3) 個人面接
各個人に対し、20～25分の面接を行う。

詳しくは募集要項を参照してください。
また、提出例についてはMPコースホームページを参照してください。



MP マatchingプログラム コース

岡山大学マッピングプログラムコース

〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1

理学部本館

TEL: 086-251-7763 FAX: 086-251-7777

Web site: <http://www.mpc.okayama-u.ac.jp/>

MP コース |



検索

